



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第433号

共に祈っておられる聖母マリアの姿を見つめて

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

今年も聖母月を迎えました。イエスが世の救い主であると公に宣言する信者の模範であり、同伴者でもある聖母マリアに寄り頼み、私たちが復活された主のいのちを証する者として成長することができるよう、取り次ぎを願いましょう。

現在、土曜日の午前中に行っているカテキズムの時間では聖母マリアについて学びを深めているところです。第2バチカン公会議 公文書『教会憲章』の第8章で述べられていますが、聖母月を迎えた今、あらためて神が啓示された救いの計画における聖母マリアの位置付け、わたしたちがなぜこの方を敬慕するのかについてなどを思い巡らせてみませんか。

神の計画によって救い主は誕生しましたが、このことは聖母マリアの同意がなければ実現しませんでした。つくづく思う事ですが、神は本当に不思議な方です。何でもご自分で進めていけばいいのですがこの方の同意を求められたからです。聖母マリアは、はじめ戸惑いますが、信頼のうちに同意します。ここに私たちが聖母マリアを敬慕する理由があります。私たちも神の不思議な計画と向き合わなければならないからです。この方のように神に応えたい。神の考えに同意したい。先の見えない未来に光を注ぐ神の計画を信じたい。つまり、聖母マリアを敬慕することは信者にとって当然なのです。だからこそ、この方への信心の持ち方を正しく理解していなければなりません。私たちが彼女へ用いる表現として最も気をつけるべきなのは「崇拜」という言葉です。この方は神ではありませんので「崇拜」は当てはまりません。用いるとすれば「崇敬」という言葉であり、敬愛する心を中心に置いた表現となっています。そして「取り次ぎ」。この方は私たちの祈りや願いを神に届けて下さる方として、同時に自分のように私たちが神の計画に応えられるよう、支えて下さるのです。

がんば3	2面
侍者だより	3面
幼稚園から	4面
ベリオン神父・聖香油のミサ	5・6面
委員会等報告	6・7・8面
お知らせ	8面

聖霊降臨の日、弟子たちと共にこの方が臨席していたことを思い起こしましょう。「彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた」（使徒言行録 1・14）。聖母マリアは私たちと共におられ、共に祈って下さっています。私たちの信仰生活が、傍にいるこの方の取り次ぎによって豊かになり、神の計画に應えることができますように。



「ラシーヌの会について」

ラシーヌの会は、宗像市の黙想の家入り口にあるログハウスで、月1回、第2月曜日の14時から4、5人が集まって聖書の分かち合いをしています。

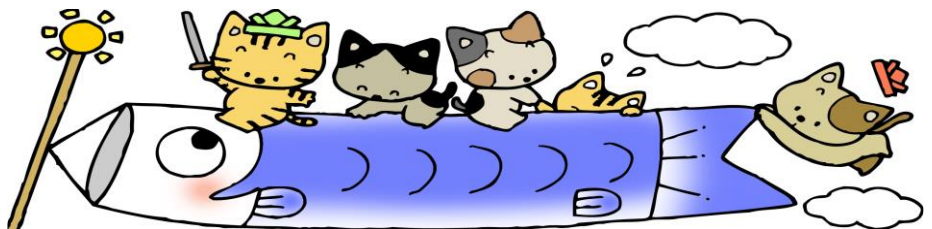
その歴史は古く、始まりはベルラン神父様在任中に遡ります。初めは個人宅で集まっていたのですが、地区の公園内にできた集会所を利用するようになり、内容は、幼稚園児の母親達が社会見聞を広めるような集会でした。

ラシーヌという会の名前はその頃上映されたアメリカ映画「ルーツ」（根っこ）を意味するフランス語でした。公共の集会所を使うために区会に提出した使用目的は、「生活を見直す」でした。

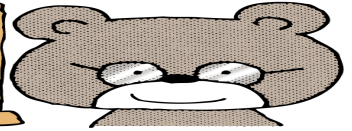
集まりは月2回で、アフリカのピアフラ飢餓のはなしをうかがうと、有志で何度かアルミ缶を集めて回り支援資金作りをしたり、クリスマスの頃に水巻教会を訪問したこともありました。2名が洗礼を受けたのは次に赴任してこられたラバルタ神父様のときでした。後任にベリオン神父が来られました。このとき「マルコによる福音」、「ヨハネによる福音」を一緒に読んで解説していただきました。水巻教会の建て替えが終わると、神父様は転任され、ガイヤール神父様が来てくださいました。参加メンバーも入れ替わりながら7、8人くらいで、次に来られた伊藤神父様の1年間のご多忙のため休止、その後再開した頃から月1回となり、神父様が来られなくなってから、場所を現在のログハウスに移し、ザビエル聖堂のミサに来ていた未信者と共に、「マルコによる福音」を読み直すことにしました。

ログハウス利用献金は、水巻教会活動の一環として支出して頂いています。

ラシーヌの会 連絡係 矢田 公美



侍者だより パウロ濱村 誠治
新しい仲間を迎えた喜び



皆さんもご存じのように、今年初聖体を受けて間もない宗家の兄弟が新しく侍者の仲間として働いてくれています。この兄弟が侍者に加わってくれた事は神様からの大きなプレゼントだと心から喜んでいきます。

二人は谷口神父様から「今日、侍者ばせんね」と笑顔で声をかけられるとすぐに祭壇に向かいました。樽角兄妹の時もそうでしたが今回も練習なしのぶっつけ本番でした。

そしてミサが始まりました。小さな兄弟は何にも教えていないのに真っ直ぐにしっかり立っています。手もきれいに合わせています。そして週を重ねるごとに二人の動きはどんどん良くなるばかりです。

なぜ？答えは簡単です。先輩達の指示を素直に聞いているからです。たまに体がムズムズする時があってもサッと手を合わせて背筋を伸ばしています。もう、感動です。

子ども達が身をもって教えてくれました。素直さがどれほど偉大であるかを。失敗したり間違えても思い直して進むことを。

私は信じています。イエス様が祭壇の上で聖変化され、永遠の御父である神様にご自分を生贄として捧げられるとき、きっとこの子ども達の見えない小さな努力も一緒に捧げてください。

これからも侍者の為にお祈りも、よろしく願いいたします。

新四年生 宗 友悠 (そう ともひさ)

侍者をやってみて初めは大変だったけど最近は楽しくなってきました。まだまだ上手に出来ませんし、初めてやった時は何も出来なかったので少し嫌な気持ちになりました。でも神父様や教会の人たちが一生懸命協力してミサをやってくれているので僕も協力しないといけないと思いました。できる限り日曜日に教会に行き、侍者として認められるよう頑張っていきます。



新三年生 宗 春杜 (はると)

僕は幼稚園の時からご聖体を食べてみたかったです。初聖体を受けて初めて食べた時、思っていた味とは違いました。思ったより味がありました。侍者になった時は難しそうだなと思っていたけど、簡単でした。難しそうなのもあるけど頑張っ





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 5月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

4月5日に入園式・始園式があり、新学期が始まりました。子どもたちは、学年が一つ大きくなったことをとても喜んでおり、たくましくたくさんのごことに挑戦する姿が見られます。新しいクラスにも少しずつ慣れ、笑顔で過ごしています。入園したお友達も、お部屋の先生やお友達と、楽しく過ごしてい



ます。これからもたくさんの新しいことに挑戦し、自信をつけながら成長していくことを楽しみにしています。

先日、築山を大きくしました。子どもたちも大きくなった築山に登ったり、降りたり、とても喜んでいきます。毎日笑顔で、楽しく遊んでいます。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



4月1日、入園・進級式がありました。「今日から1歳児さんは2歳児さんに、0歳児さんは1歳児さんになります。おめでとうございます!!」みんな、その意味が分かったかな?今年度も「マリア子どもの家」で楽しく過ごしましょうね。暖かくなった庭や畑は花盛りです。菜の花が種をつけだすと、秋に種を蒔いた矢車草・キンセンカ・ノースポール・ビオラやアネモネが咲きスナップエンドウの実が膨らみ始めました。「どれがふくらんでいるかな?」ダンゴ虫探しも始まりました。



TEL : 050 5212 7759
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美
教職員 一同

ベリオン神父さまのラストメッセージに学んだこと

神父様、日本でのお働きを終えてご帰国なさる慌ただしい日々の中、土曜日の夜の黙想会と主日ミサの司式をしてくださいました事に感謝申し上げます。師がこの教会の司祭としていらっしゃる時には私はまだ共同体の一員ではありませんでしたが、信徒の多くの方がベリオン神父様の教えに感動されている事を知り、師の日曜日の言葉集「そよ風に運ばれる種」2冊をお借りして読ませて頂き、これこそがキリストの教え、と信仰を深めることになりました。

美しく、解りやすく、丁寧な日本語でのラストメッセージで師が語られた御言葉は今もこれからも、いつまでも大切に守りたいと思います。そのひとつが、共同体の一致ということです。御聖堂に集う一人一人はそれぞれの生活の場を持っている個人ですが、キリストによって思いを一つにでき得る存在なのです。まずは顔を見て挨拶から始めましょう。こんにちは～

そしてもう一つ大切な心、謙遜とへりくだりです。私たちは神様から選ばれた者として高慢になってはいけないという事です。キリストはひざまずいて弟子たちの足を洗われたのです。恐れ多くも～です。

どんな地位に就いて居ようと、人間性が言葉や態度に現われて晩年を汚して失脚していく多くの人を見ます。偉くなったと錯覚してしまうのが人間の弱さですが、神の前では高い地位も低い地位もなく、みな平等のいのちなのですから。

4月号の福岡司教区報のトップを飾られたベリオン神父様の言葉には、キリストからのご召命を見事に果たされ、信仰を守り抜いた師のお姿を見る思いでした。

フランスでのご平安をお祈りします。感謝。

福嶋 東三子



聖香油のミサに参加して

宮城直美

聖香油のミサに初めて参加した感想文。

聖なる油。洗礼志願者のときと、堅信の時に額に受けた聖なる油。

毎月小倉教会で召命を共に祈る会が開かれるが、仕事で参加は叶わない。ならば、と私がこのミサで第一に感じたのは、司祭の召命・養成について自分が出来る事を見つけ出しこれを実行しよう、であった。

開始1時間以上前に福岡市の大名町教会の大聖堂に入ると、既にアベイヤ司教様をはじめ、幾人かの司祭や神学生が式の流れの確認中であった。

特別な事情がない限りは教区の司祭が一同に集まり、教区の宣教司牧の為司教様に従

い働きますと誓われるこのミサに参加することは私の長年の望みであった。

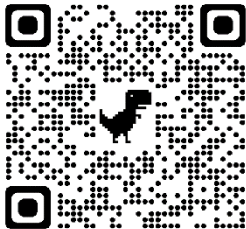
入祭の歌と共に奉仕者、司祭団、アベイヤ司教様の入堂。祭壇で司式される司教、司祭以外の司祭方は、会衆席の左端と右側の二手に別れて着席された。主の祭壇を囲んで教区の神父様たちが多く集まった感動的な光景。しかし、大方の司祭が高齢である。若い司祭がない。今年5月に42歳になられるわれらが谷口尚志神父様が若手司祭のひとりである。

司祭は養成に10年は要するから叙階されたばかりでも30歳代くらいにはなるのだが。「喜びの聖なる油 神はあなたに注がれる」と歌いながら私は喜ぶ心と同時に、私でも出来ることを探さなければという気持ちに駆られていた。

閉祭の歌、ではなく、派遣の歌「賛美の賛歌」を歌いながらアベイヤ司教様と福岡教区のすべての神父様たちの健康と益々の司祭職の喜びを祈った。

2024 聖香油ミサ は、次の QR コードから

<https://www.youtube.com/live/O5Um5nt3op4?si...>



委員会等報告 2024年4月分

4 月度小教区委員会 4月7日

1. 行事予定

- 5月 5日(日) 11時～ミサ。

ミサ後～小教区委員会

- 5月 11日(土) 19時～ミサ。
- 5月 19日(日) 9時～ミサ

ミサ後～信徒総会

18時～ベトナム語ミサ

- 5月 26日(日) 9時～ミサ。

ミサ後～教会学校、こころの会

2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

① 広報委員会

・編集作業日に当たる第3週の日曜日は、ミサが11時から始まるので、9時頃より作業を始めておくようにする。

② 典礼委員会

・聖週間の典礼への協力に感謝したい。あらためて聖歌隊の位置付けについて、また、聖週間の典礼の反省などを行うために委員会を開く。

③ 総務委員会

・4/14(日)、ミサ後に総務委員会を開く(小グループとの連携のために)。

④ 財務委員会

・議題3、5を参照のこと。

⑤ 営繕の部

・協力者を募り、屋外に設置するベンチの組み立てとニス塗装を行う。

⑥ 納骨堂管理の部

・海老津地区の方から納骨室の使用申し込みが一件あった。

⑦ 冠婚葬祭の部

・先日、棺の覆いの寸法を調整して実際に使用した。その葬儀の際、1万円の寄付をいただいたが、それを「ふれあい会」のために使用させていただくこととした。

⑧ 北九州地区宣教司牧評議会

・教区ハンドブックに掲載されている教区の諸委員会を、各地区を巻き込んで機能させるため、まず地区評議会のなかでどのような活動が行われているのかをまとめ、それをも

とにした委員会の在り方を教区宣教司牧評議会に提案するようになっている。そのため、水巻教会でもおおまかな活動報告を行った。次回の地区評議会は5/12(日)に小倉教会にて14時から。

(2) 復活祭パーティーの反省

・事前の準備から当日の準備まで、協力して下さった方のおかげで滞りなく行えた。子どもたちや保護者の方も30(土)の午前中に集まり、200個のイースターエッグを準備してくれた。パーティーの明確な開始時間を決めていなかったため、それは反省すべき点。

(3) 子どもたちへの活動基金の取り扱いについて

・教区の会計担当者に問い合わせた結果、「指定寄付金」として収入に計上、その後、そのまま支出に計上して、その現金を管理することになった。現金の管理は「召命を祈る会」が教会学校のスタッフを兼ねているので、打診してみる。

(4) 信徒総会(5月19日)に向けての準備について

・会計監査を4月末に予定。総会資料の作成日は5/11(土)15時より。役員会だけに負担がかからないように委員の協力をお願いしたい。

(5) 教区資産運用へ預け金協力について

・現在、水巻教会からは改築献金の積立金のうち、200万円を預けている。今後は2023年度の決算書に基づき、1,000万円ほどある普通預金の貯蓄分からいくらかを追加で預けるようにしてはどうか。最終的に総会にて承認を得る。

(6) プロジェクターとスクリーン、遮光カーテンの導入を早急に揃えることについて
 ・勉強会、黙想会、地区主宰の聖書講座等での活用が大いに期待できるため、導入することが承認されたこれらの備品を早急に揃える。プロジェクターとスクリーンについては役員会で家電量販店に問い合わせるようにする(遮光カーテンについては営繕の部で準備が進んでいる)。

(7) その他

- ・宗像の旧黙想の家で使用されていた長机を10脚、譲り受けるにあたり、御礼として2万円をお渡しした。
- ・今年度も昨年度同様に日帰り巡礼を行う方向で準備に入る。5月度の小教区委員会にて案を出してもらおう(高齢者でも参加できる&直方教会と合同を前提とした内容を)。



★ミサ日時の変更★

5月11日(土) 主の昇天ミサ 19時から
 12日(日)は、直方教会信徒総会のため、水巻教会でのミサはありません。

★信徒総会について★

日 時：5月19日(日) ミサ後
 信徒の皆様の参加をお願いします。

この日は第3日曜日ですが、ミサの開始時間は9時です。間違えないように気を付けてください。

★特別献金★

聖地のための献金	8,660円
復活祭特別献金	173,370円
教会学校活動寄付金	59,817円
4月14日 カテドラル特別献金	20,884円

ご協力、ありがとうございました。



【帰天】安らかに！

4月2日

◇アレキシオ 瀬戸 正光さん

(海老津地区)

【転入】ようそこ！水巻へ！

◇山元 節子さん

東京教区上野毛教会より中間地区へ

【転出】お元気で！

◇掛布 いずみさん

遠賀地区から大阪・玉造教会へ

